

平成30年1月30日  
義務教育課  
教育総合研究所

## SASA2017（第66次福井県学力調査）概要

### 1 調査の目的

県内の児童生徒の学習状況および学習と生活に関する意識や実態を把握するとともに、結果を分析することにより学習指導上の課題を明らかにし、学力向上に資する。

### 2 調査日

平成29年12月12日(火)：国語、社会、英語（中学校）  
13日(水)：算数・数学、理科、質問紙

### 3 調査実施学年・人数

小学校第5学年 7,057名 中学校第2学年 6,926名

### 4 特徴

- ・教科に関する基礎的な知識・技能や活用力を測る問題（A・B問題）のほか、実社会で直接生かせるような総合的な学力を測る問題（Cチャレンジ問題）で構成
- ・「全国学力・学習状況調査」や過去の「福井県学力調査」において課題となった内容のほか、読解力や記述力が必要な内容、応用力を必要とする問題を出題
  - 例 条件を踏まえて記述する問題  
理由や根拠の説明、答えに至る過程を論理的に説明する問題  
図や表など複数の資料から情報を素早く読み取る問題
- ・併せて、児童生徒の生活や学習に関する意識や実態のほか、学級の状態に関する質問紙調査を実施し、生活・学習状況、学級の状態と学力の相関を分析
- ・自校採点や調査結果の活用に関する学校質問紙調査を新たに実施
- ・調査結果は、児童生徒の学習課題の克服、教員の指導方法の改善に活用

### 5 結果の概要（A・B問題の平均正答率〔%〕）

	国語	社会	算数・数学	理科	英語
小学校	63.6	51.3	56.0	55.5	
中学校	59.4	38.7	46.2	47.7	58.8

### 6 調査結果の活用

- ・教育総合研究所が調査結果を集計・分析し、学校等に報告。また、義務教育課、嶺南教育事務所、教育総合研究所がSASAの結果を踏まえて研究協力校等への学校訪問研修を実施。
- ・学校はSASAの結果を分析し、2月以降の授業改善に活用